

「JNLA 試験方法区分一覧（案）」にかかるご意見と回答について

No.	ご意見				回答
	区分 No.	試験方法の区分の名称	維持を希望する試験方法	理由	
1	110	放射線等危険性試験	JIS C 7550	現在登録中	ご意見ありがとうございます。見直し調査において、確認の漏れがありました。大変失礼いたしました。左記の試験方法については、「維持」とさせて頂きます。
	132	照明器具電気的特性試験	JIS C 8152-3	現在登録中	
2	2	骨材試験	JIS A 1804 JIS A 5002	登録申請の予定はありませんが、骨材試験として重要な JIS であるため。 ・1804 アル骨（迅速法）は、骨材のアルカリシリカ反応性試験のうち、化学法と並び短期（1週間ほど）で結果が判明します。近年はかなり下火になった試験方法ではありますが、アルカリシリカ反応性を調べる重要な試験方法であることに変わりはないため、削除はしないようにお願いします。 ・5002 には、箇条 5.5 塩化物があり、当方の受託件数も年間 35 件あります。こちらも骨材試験としては、かなり重要であり、削除はしない方向でお願いします。	ご意見ありがとうございます。 ・JIS A 1804 については、「維持」とさせて頂きます。 ・JIS A 5002 の箇条 5.5 塩化物試験については、区分 No.7（石灰・セメント・ガラス化学分析試験）に対応する規格が維持されております。
3	7	石灰・セメント・ガラス化学分析試験	JIS A 6206	JIS A 6206 は 2013 年の改正で、強熱減量の定量方法について、「ただし、加熱温度は 700±25℃とする。」の一文が追加された。このため、JIS R 5202 ではスラグの分析ができないため。	ご意見ありがとうございます。JIS A 6206 は試験方法規格を引用する規格のため、本件の対応の対象外とさせて頂きます。
4	106	耐久性・耐食性試験	JIS C 60068-2-78	今後、登録申請を予定しているため	ご意見ありがとうございます。JIS C 60068-2-78 については、「維持」とさせて頂きます。

5	110	放射線等危険性試験	JIS C 7550	最近、登録実績のある試験方法が削除試験方法になっています。工業会で実施している試験所間比較参加者からも、今後、登録申請が見込まれます。	ご意見ありがとうございます。見直し調査において、確認の漏れがありました。大変失礼いたしました。左記の試験方法については、「維持」とさせていただきます。
	132	照明器具電気的特性試験	JIS C 8152-3		
	111	部品試験	JIS C 7618-1 JIS C 7619	次の2件は、「維持を希望」というよりは、「直接利用する試験方法ではなく引用先のため、JNLA 試験方法に登録されていなくとも問題ない」という理由での削除であるのか教えていただきたいと考えたものです。 本2件は、試験方法として登録されている JIS C 8105-1（照明器具の安全通則）の中で引用しています。 つまり試験を実施する際に引用する部品の試験方法です。	部品試験として、JIS C8105-1 は登録されておらず、この規格と JIS 7618-1 及び JIS C7619 の引用関係は当該区分の対応の対象外です。 削除理由は、現行 JNLA 制度が施行されて以来、登録の実績がない、或いは登録の要望がない試験方法規格を対象に削除させていただきました。
	132	照明器具電気的特性試験	JIS C 7622 JIS C 8147-1	JIS C 7617-2, JIS C 7618-2 などからの引用があります。	照明器具電気的特性試験として、JIS C7622 及び JIS C8147-1 は JIS C7612-2 及び JIS C7618-2 に試験方法規格として引用されているものではなく、当該区分対応の対象外です。 削除理由は、現行 JNLA 制度が施行されて以来、登録の実績がない、或いは登録の要望がない試験方法規格を対象に削除させていただきました。
6	110	放射線等危険性試験	JIS C 7550	現在、申請中のため	ご意見ありがとうございます。見直し調査において、確認の漏れがありました。大変失礼いたしました。左記の試験方法については、「維持」とさせていただきます。